

### ディレクトフォース

私は今までにこのような大きな企業を訪問したことは1度もありませんでした。そんな大企業の社員の方々から話を聞いて、たくさんのことを学ぶことができました。

まず、どんな仕事にもやりがいや意味があるということです。ディレクトフォースの始めにされた仕事紹介では、製造を担当する技術部門の方だけでなく営業部門や法務部門の方の話も聞くことができました。表では目立たない仕事をしている人達でも、自分の仕事の話をしているときの顔はとても生き生きとしていました。私はまだ学生で、将来の夢も今は決まっていますが、自分が仕事をする立場になったら、それに誇りをもてるような人間になりたいと思いました。

そして、学生時代に無駄なことを一生懸命することが仕事のモチベーションを保つ秘訣になるということです。これは班ごとの話し合いのときに社員の方々に教えてもらいました。学生時代の間は無駄なことを一生懸命やっておけば、嫌なことがあっても「こんな無駄なことに一生懸命になれたんだから自分はまだ頑張れる。」と思えるそうです。だから私も今しかない学生時代で、無駄なことも面倒くさがらずに一生懸命頑張っていきたいです。

とても短い時間でしたが、ためになる話をたくさん聞くことができ良かったです。この機会に学んだことは自分の将来を考える上で役立てていきたいとおもいます。

### 企業大学訪問

私の班は、筑波大学の計算科学研究センターというところに企業大学訪問をしました。私はこの貴重な体験を班長として臨みました。班員の要望により、宇宙関係の仕事、研究の話を聞きたいということで、JAXA、筑波大学など、とても大きな規模の企業や大学にアポイントメントをとらなければなりません。電話の際はとても緊張し、断られてしまった企業もありましたがこれもとても良い経験となりました。

実際の訪問では、スーパーコンピューターの話、宇宙についての主に2つの内容について聞いてきました。スーパーコンピューターについては、現在筑波大学が所持している「HA-PACKS」というスーパーコンピューターを直に拝見させてもらったり、宇宙の研究のためにどう役立っているかのお話を伺いました。スーパーコンピューターは、何千台ものコンピューターを並列してネットワークでつなぎ一台のコンピューターのように扱ったものであり、1秒間に1166兆回もの計算ができるそうです。これは研究で立てた仮説を高精度にシミュレーションするためのもので、宇宙だけでなく天候、環境予測など様々な分野で利用されているそうです。これまで名前しか知らなかったスーパーコンピューターについて、詳しい仕組みや使用方法までとても分かりやすく説明してもらいためにりました。

宇宙の話では銀河について、詳しく教えてもらいました。我々の住む銀河、天の川銀河は今、隣の銀河であるアンドロメダ銀河とどんどん近づいていて、数百億年後には衝突して合体してしまうそうです。これは研究で得た仮説をスーパーコンピューターでシミュレーションした結果で、遠い未来、かなりの確率でおこるものだそうです。このようなとても興味深い話を聞いて良かったです。

そして最後の質問の時間では、天文学についての話だけでなく、研究者の話もしていただきました。将来、研究者になるという道を考えている私にとっては、とても貴重な話を聞くことができました。

一時間という短い間でしたが、内容の濃い有意義な時間となりました。自分の将来を考えていくにあたって学んだことを大いに生かしていきたいとおもいます。本当に良い経験をさせていただいた筑波大学の方々にはとても感謝しています。

## OBOGによる談話会

私は、この機会に初めて現役の東大生の方々と会いました。たくさん話を聞いている中で、気付いたことが4つあります。

1つ目は、東大生であっても、常に勉強漬けではないということです。どの人の話を聞いてもしっかりと部活動にも励み、自分の趣味にも時間を使っていました。勉強は量より質、ただやみくもにやるわけではなく、効率良くやるのが大切だということがわかりました。

二つ目は、自分の好きなことにはとことん時間を使っているということです。これは、1つのものに対する集中力の高さを意味していると思います。この集中力が、勉強漬けでなくても学力を効率的に上げられる秘訣だと思います。

そして3つ目は、工夫して勉強していたということです。OBの方々の話で一番興味を引かれたのはこの部分でした。いかに勉強のモチベーションを上げるか、学校の勉強以外にも、なるべく早い段階から自分の志望する大学の入試問題に慣れておくなど、とてもためになる話を聞くことができました。

最後に4つ目は、東大生であったとしても最初からものすごく頭が良かったというわけではないということです。OBの方々の中でも、1年生の時の順位が大したことないという人がいました。どんなに低い順位や成績をとったとしても、諦めずに目標とする大学にはいるため、日々努力することが大切であるということが分かりました。

以上の4つが、話を聞いている中で気付いたことです。いかに自分が無駄の多い時間の使い方をしているのか、足りない部分がどれだけあるのかということがはっきり分かったとても有意義なものとなりました。これからの勉強生活に活かしていきたいと思います。

## 東大見学

日本で最難関と言われている東京大学、一体どのような雰囲気なんだろうと、これまでずっと疑問に思っていました。そしてこの機会に実際に訪れてみて、自分の思っていたものとは全く違ってとても驚きました。その中でも特に印象に残ったものが二つあります。

1つ目は、学生の方々の雰囲気です。これは私が想像していたものとは全く違いました。私の中では、とても勉強のできるエリート集団で、いわゆる「変人」と呼ばれる人々の集まりだとずっと思っていました。しかし、学部紹介やパンフレットを配っていた学生の私達への対応、そして展示物の説明をさせていただいた学生の優しく話しかけてくれる姿をみて、印象が変わりました。ただ頭が良いだけでなく人間性もしっかりとできているのだと、尊敬の念を抱くだけでなく、憧れの気持ちも芽生えてきました。

2つ目は、学部内の学科の多さです。私は理系の分野に興味があったので、理学部を見に行きました。理学部の敷地はおても広く、それだけで何棟もの建物がありました。中に入るとクイズの紙を渡され、様々な学科の先生や学生たちの話を聞いてクイズに答えるというゲームをやっていました。たくさん話を聞けるだけでなく、このような企画もやっていてとても楽しめました。話を聞いている中で最も印象に残ったものは天文学の分野でした。様々な展示物があり、専門の先生に宇宙についての話を聞けました。企業大学訪問に引き続き、興味のある分野の話を聞くことができとても良い経験になりました。

この東大見学は、将来の目標を決める上で、とても有意義なものとなりました。この経験を忘れずに、これからの生活へといかしていきたいです。